

医療情報標準化指針提案申請書(新規)

申請受付番号		事務局受付日	2021年10月10日	申請日	2021年10月9日
提案申請団体名 ・責任者名	日本HL7協会 会長木村通男		規格作成団体名 ・責任者名	日本医療情報学会 理事長中島直樹 及び日本HL7協会	
提案規格名 (版数)	和名	退院時サマリー HL7 FHIR記述仕様			
	英名	Standard Specification for Discharge Summary based on HL7 FHIR			
提案規格の目的、概要(提案規格策定経緯及び決定プロセス)	和文	「退院時サマリー」を異なる施設間で電子的交換を可能にする規格であり、記述すべき項目とその電子的記述方法が定められている。記述項目については、日本診療情報管理学会と日本POS医療学会、日本医療情報学会が2014年に「サマリー等の診療記載に関する標準化推進合同委員会」を組織し、そこで合意された内容である。同目的のHS032はHL7 CDA R2によるもので、内容の個別のデータはHL7 v2シリーズと同じで、HS026SS-MIX2ストレージに格納されるものと同じであり、齟齬を生じない。			
	英文	This is a standard enabling electronic exchange “Discharge Summary” between different facilities, items to be described and their electronic description method are defined. Regarding the items to be described, Japan Society of Health Information Management, Japan Society for POS Health Care and Japan Association for Medical Informatics organized the “Joint Committee on Standardization of Discharge Summary” in 2014, which was agreed there. The electronic description method is developed based on HL 7 FHIR. HS032 is a standard for same purpose by different syntax. Contained data are same with HL7 v2 which can be stored at HS026 SS-MIX2 storage.			
提案規格の申請理由、適用領域、使用方法: 地域連携システムなど、医療機関のシステム連携が進められている中で「退院時サマリー」の標準化が強く求められている。本規格は、内科系をベースにしているが、その他の診療科の記述も可能である。また将来的には、本規格をベースに各診療科固有の部分が規格化されることを想定している。本規格は、「JAHIS診療文書構造化記述規約 共通編Ver.1.0」をベースにしているため、電子カルテベンダーが標準機能として本規格を組み込むことが望まれる。					
関連他標準との関係(相違点及重複点の取り扱い方): ・JAHIS、JIRA及び日本HL7協会で制定した「JAHIS診療文書構造化記述規約 共通編Ver.1.0」をベースとしており、ベンダーにとって違和感はない。 ・既にHELICS規格として制定されているHL7 CDA R2によるHS032と並立して、HL7 FHIR R4版を定めるものである。					
提案規格の申請理由、適用領域、使用方法の関連情報	メンテナンスの方法(バージョン管理も含む): 日本医療情報学会が日本HL7協会とともに、維持管理部会の作業チームにおいてメンテナンスとバージョン管理を行い、メジャーな改訂に際しては日本HL7協会が確認、オーサライズする。				
	入手資格: 特になし。				
	入手方法: 日本医療情報学会のHPからダウンロードする。				
	価格等: HL7 InternationalでもFHIR規格書は無料となっており、本邦でも無料とする。				
	知的所有権(特許権・実用新案権などの工業所有権と著作権とは分けて記述すること): HL7 International, 日本医療情報学会。				
添付資料: なし。					

実務運用上の連絡者	・氏名 米納達二 ・TEL 03-3506-8010 ・FAX 03-3506-8070 ・E-mail yono@jahis.jp
特記事項	本規格の申請により、HL7 CDA版のHS032の取り下げを求めるものではない。

※更新・修正・廃棄の時は、以下の一項を選択し、旧規格名(和名)を記載する。	
指針の更新・改廃の場合の旧規格との関係	<input type="checkbox"/> 旧規格()を新規格に 修正 する。 <input type="checkbox"/> 旧規格()と新規格が 更新 で指針となる。 <input type="checkbox"/> 旧規格()を 廃棄 する。
更新時の新旧の相違点	※バックワードコンパティビリティについても記入してください。

※記入に当たっては「医療情報標準化指針提案申請書の記載方法について」を参照下さい。

※申請した指針は、毎年5月末までに見直しをお願いします。

事務局から問い合わせが行きますので、必要に応じて更新などの手続きをお願いします。

※旧指針を廃止し新たな指針を提案する場合には、廃止と新規と二通の提案を行ってください。

一般社団法人医療情報標準化推進協議会
標準化委員会(2020/02/05原案改訂)

(2020.DD.YY 改版)